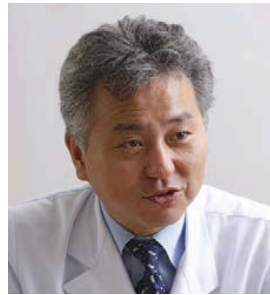


腎臓内科



筑波大学
University of Tsukuba



私たち筑波大学腎臓内科では、ガッツのある研修医を募集しています。アットホームな雰囲気の中、皆さんの個性や能力を最大限伸ばせるよう努めています。是非、多くの腎臓内科医をめざす先生方に筑波大学での後期研修を受けていただきたいと思います。

筑波大学腎臓内科学教授 山縣 邦弘

研修方針

たえず患者様を慮り、総合内科という広い視野に加えて腎臓内科という専門的な視点から包括的な医療を提供できる医師を育成する。

ポイント① 総合内科を学びながら、複数の専門性を獲得する事ができます！

高血圧症、糖尿病、肥満症などの生活習慣病の診療を行いながら、腎炎・免疫、透析・腎移植、老年内科といったより高い専門性を身に着けることができます。そのため、多くのメンバーが後期研修医を修了後に総合内科専門医に加え、腎臓専門医、透析専門医、高血圧専門医、アフエレーシス認定医、移植認定医といった認定・専門医を取得しています。

ポイント② 診療ガイドライン作成メンバーに直接指導を受ける事ができます！

大学スタッフは、CKD、急速進行性腎炎症候群、ANCA関連血管炎、ネフローゼ症候群、透析導入、薬剤性腎障害、腎臓病と妊娠など数多くの腎臓病に関する診療ガイドラインの作成を担当しています。そのため、当グループは本邦の中心的な腎臓病診療グループと言っても過言ではありません。後期研修ではこれらのガイドラインに準拠した診療を直に経験することになります。

ポイント③ 基幹病院での診療を通して地域への貢献を実感できます！

当グループの出身者は、茨城県を中心に広がる腎臓内科医のネットワークを作り（平成27年5月現在、腎臓専門医数48名、透析専門医数54名）、各基幹病院単位で地域での診療を担当しています（図）。後期研修医は各基幹病院をローテーションすることで、地域への貢献を肌で実感することができます（表）。当グループの目標は、腎臓病の診療を介して地域住民の皆様の健康長寿を支えることです。

ポイント④ 腎移植チームの設立

CKD管理、腎代替療法など医師以外のコメディカルスタッフとのチーム連携体制でのより包括的な診療を実践しています。中でも生体腎移植に関しては、移植外科、泌尿器科、コーディネーター、病棟外来スタッフ、薬剤師との連携体制を2年前に立ち上げました。腎臓内科は移植前・周術期の腎不全管理、移植腎生検、維持期の外来・入院（拒絶反応、感染症など）を主に担当し、腎移植管理に深く関わっています。欧米では内科医が腎移植患者を担当することは一般的ですが、本邦では一部の施設や移植外科医が不在といった特別な事情の場合に限られているのが現実です。本邦での一つのモデルケースになるべく“腎臓内科医による腎移植管理”の充実に積極的に取り組んでいます。

図. 筑波大学腎臓内科グループ

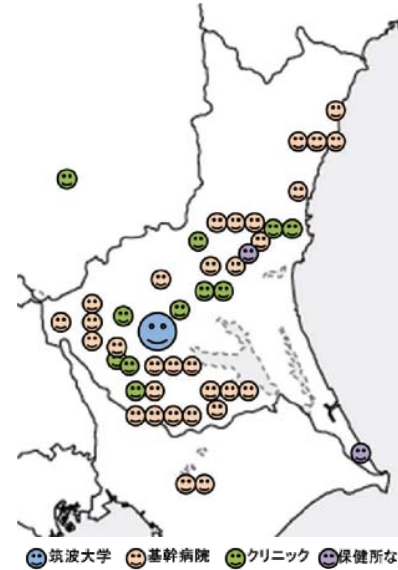


表. 後期研修医の進路状況（平成27年5月）

卒業年数	性別	出身大学	進路	専門医・学位
3年目	M	筑波大	附属病院後期研修医	
3年目	F	筑波大	附属病院後期研修医	
3年目	F	山梨大	つくばメディカルセンター後期研修医	
4年目	M	福井大	附属病院後期研修医	
4年目	M	独協医大	日立総合病院後期研修医	
4年目	F	島根大	筑波学園病院後期研修医	
4年目	F	北里大	水戸済生会総合病院後期研修医	
4年目	M	筑波大	日立総合病院後期研修医	
5年目	M	筑波大	附属病院後期研修医	
6年目	F	島根大	附属病院後期研修医	
7年目	M	筑波大	筑波大学大学院博士課程	
7年目	F	熊本大	茨城西南医療センター病院医師	
7年目	M	帝京大	茨城県立中央病院医師	
8年目	M	筑波大	筑波学園病院医師	透析専門医
8年目	F	浜松医大	非常勤医師	
9年目	M	岩手医大	住吉クリニック医師	腎臓専門医・透析専門医
10年目	M	筑波大	筑波学園病院医師	腎臓専門医・透析専門医
10年目	M	筑波大	筑波大学助教・大学院博士課程	腎臓専門医・透析専門医
10年目	F	筑波大	水戸済生会総合病院医師	腎臓専門医・透析専門医
10年目	M	筑波大	附属病院病院講師	透析専門医、博士（医学）

●筑波大学 ●基幹病院 ●クリニック ●保健所など

ポイント⑤ 研究生生活への道標

後期研修終了後の進路は、大学院博士課程、クリニカルフェロー、大学スタッフ、基幹病院スタッフなど多岐に渡ります。付属する腎臓内科研究室では、フィールドワークに基づく慢性腎臓病に関する臨床研究（KI 2007）、iPS細胞など幹細胞・再生医学研究（Cell 2010, AJP 2012）、ミトコンドリア代謝を対象としたネフローゼ症候群の病態解明研究（KI 2006）などを精力的に進めています。また、介入臨床試験や多施設大規模コホート研究も積極的に行っています。そのため、診療研修を行いながら、医学研究にも関心を持つことができる環境が整っています。研究意欲や好奇心の旺盛な研修医を歓迎しています。

他、筑波大学附属病院卒後研修センターでは、アカデミックレジデント制度や女性医師看護師キャリアアップ支援システムといった特色のあるプログラムが充実しています。希望のある後期研修医には積極的に活用する方針ですので、お声をおかけください。また、見学は卒後研修センターにて随時受け付けています。

連絡先

筑波大学附属病院腎臓内科
筑波大学医学医療系腎臓内科学
臼井 丈一

Joichi USUI, M.D., Ph.D.

Tel: 029-853-3202

アドレス: kidney@md.tsukuba.ac.jp

